



令和8年 新年ごあいさつ

県土整備部長 新屋 孝文

令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のあいさつを申し上げますとともに、本県の県土整備行政の推進につきまして、日頃より皆様から格別の御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、昨年12月に発生した青森県東方沖地震では道路・港湾を中心に被害が発生しましたが、県内の建設業者・建設関係団体の皆様からは積極的な御協力をいただき、一日も早くインフラの完全復旧に向かって奮闘されていることにも深く感謝申し上げます。

さて、県では、急激に変化する時代に対応した新しい青森県づくりを進めているところであり、その実現には、地域の産業を支える社会資本整備と災害に強い「安全・安心な県土づくり」の推進が必要不可欠です。

今年3月14日には下北半島縦貫道路のうち、「むつ南バイパス」と「横浜南バイパス」が供用開始となります。供用開始によって、供用率は61%へと向上し、防災道の駅に指定されている「道の駅よこはま」と直結することで、下北半島の防災機能向上が図られ、「半島防災」の取組においても大きな前進になるものと考えています。

また、近年は、本県においても自然災害が激甚化・頻発化しており、毎年発生する大雨災害についても、あらゆる関係者が共同して治水対策を行う「流域治水」をはじめとした、防災・減災の取組を引き続き推進していきます。

一方、ハード事業を担う建設業においては担い手不足の問題が顕在化しています。この問題に対しては、働き方改革

が進み、やりがいと得られる魅力的な仕事である建設業の仕事内容について知っていただくため、「建設業キャリアセミナー」の開催や、本県の建設業に特化した求人支援サイトである「チカラコブ」を開設し、求職者が満足できる業種の企業とマッチングできる取組を通じ、建設業の担い手を確保していききたいと思えます。

また、今年には本県において国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会が開催されます。県民一体となってこの大会を盛り上げ、成功するよう、県としてもハード・ソフトの両面で大会を支えていきますので、よろしくお願ひいたします。